

まとめ

本研究では、自閉症・情緒障害特別支援学級に在籍する自閉症のある児童生徒を対象として、彼らの前年度における国語科学習の総括的な評価を行い、その結果を踏まえ、自閉症・情緒障害特別支援学級の担当教員が国語科指導の内容等を編成し、具体的な国語科指導の実践を行ってきた。そのねらいは、自閉症・情緒障害特別支援学級における国語科指導の在り方を検討するためであり、その方法として、まず1年間の国語科指導の結果から、対象児童生徒の国語科学習の習得状況を明らかにするツールが必要であった。

研究成果報告書の第Ⅰ部では、自閉症のある児童生徒の前年度における国語科学習の習得状況を把握するためのツールとして、国語科学習評価シートを作成し、作成に関するプロセスや具体的なシートの内容、そして学習評価の実施手順等について報告した。

国語科学習評価シートのベースは、国立教育政策研究所(2002)による国語科評価規準であり、本研究では、その評価規準の各項目を細分化して国語科学習評価シートと呈示した。学習評価シートは、当該学年の評価規準に照らして習得状況を評価しつつ、十分な習得でなかった場合は下学年の評価規準を用いる方法をとっている。何故なら自閉症の認知特性を想定すると、定型発達の児童生徒より習得状況はアンバランスな実態があるのでないかと考えたからである。

実際、対象児童生徒9名の国語科学習評価シートを基にした習得状況は、アンバランスな実態であった。この結果については、別冊及び本報告書の第Ⅱ部においても、その結果を整理し詳細に報告している。

さらに本報告書第Ⅱ部では、各担当教員が対象児童生徒の国語科学習の習得状況を把握した上で、今年度の国語科指導方針を決定し、国語科の指導時数や指導内容等を編成し、年間の国語科指導計画を作成した上で、実際の単元指導の結果についても報告をしている。

そこで、本稿の「まとめ」では、2年間の研究を推進してきた結果、非常に重要であったと考えていること、具体的には、自閉症・情緒障害特別支援学級の経験が少ない担当教員であっても、自閉症のある児童生徒に対してより適切な指導を行うために重要だと考えた視点について述べていきたい。

まず一番重要だと考えたことは、対象児童生徒の実態把握の方法として、様々な心理検査等の知見がない教員であっても、主観的ではあるが国語科学習の習得状況を把握することができたことである。つまり、国語科学習評価シートは、小・中学校の学習指導要領に基づいた評価規準であるため、細分化した一つ一つの評価項目は、そもそも小・中学校の教員なら馴染みのある国語科の指導内容であり活用しやすいものであった。

従来の自閉症のある児童生徒の実態把握の方法は、専門家しかできない心理検査や行動観察が主なものであったが、特別支援学級の担当教員の専門性の現状から考えると、実態把握の方法はそれだけではないことを知ることや、教員として有している各教科の専門性を生かす実態把握の方法は重要であったと考える。

また、対象児童生徒の学習の状態を思い起こしながら、習得状況について確認していく作業そのものが、指導計画や授業を組み立てる上でも有効だったと考える。

次に重要だったと考えている視点として、研究協力校の担当教員に国語科指導の方針を決定する前段階で、3種類のフォーマットを用意したことだと考えている。この3種類のフォーマットは、自閉症研究チームのメンバーで協議する中で生まれたアイデアであり、担当教員が、対象児童生徒の国語科学習の習得状況を理解したとしても、即時的に指導方針を決定できないであろうと推測されたために用意したものである。

実は、このフォーマットが非常に重要な視点を網羅していて、国語科指導の内容等を編成する際に担当教員自身に問うている形式になっているが、3種類のフォーマットの各項目を埋めていくことで、結果的に指導方針として固まっていくことにつながっている。したがって、それを文章化すれば、担当教員の今年度の国語科指導方針となっていくのである。このようなフォーマットがあつてこそ、例えば自閉症の児童生徒を初めて指導する担当教員であっても、児童生徒の実態を踏まえつつ、自身の指導を詳細に決定していくことが可能になるのだと考える。

すなわち、国語科における学習評価の結果だけでなく、その結果を基に、3種類のフォーマットの使用により、自閉症のある児童生徒の特性を踏まえた指導の在り方を検討するプロセスが重要であったと考える。

そして最後に、具体的な国語科指導においては、自閉症の認知特性を踏まえた活動や配慮事項が重要となる。この配慮事項等は、自閉症のある児童生徒を初めて指導する担当教員には少し難しいかと思われる。何故なら、自閉症の認知特性を理解することで、初めて生まれる指導であり配慮であったりするからである。この重要で必要な配慮事項等については、別冊を熟読していただき、自閉症・情緒障害特別支援学級のベテラン教員が行った、背景ときめ細かい配慮を学んでほしいと願っている。